

IronKey Workspace W500 クイックスタートガイド

2016/04 rev.1

本書は、IronKey Workspace W500 の典型的なデバイス設定方法（シングルデバイスプロビジョニング）を記述しております。ここでは Windows 8.1 Enterprise OS を使用しております。

※御注意

- 作業中に PC がレジュームや省エネモードにならないように設定して下さい。

1 : プロビジョニング用 Admin Tools の準備

- Imation ホームページの下記パスへより、下記 2 つの Admin Tools をダウンロードします。ダウンロード後のファイルは ZIP 圧縮されておりますので、あらかじめ解凍しておきます。

<http://support.ironkey.com/article/AA-02714/0/Workspace-4.3-Upgrade-Downloads-and-Documentation.html>

- Admin Unlocker Tool 4.3 / IronKey Control Panel 4.3

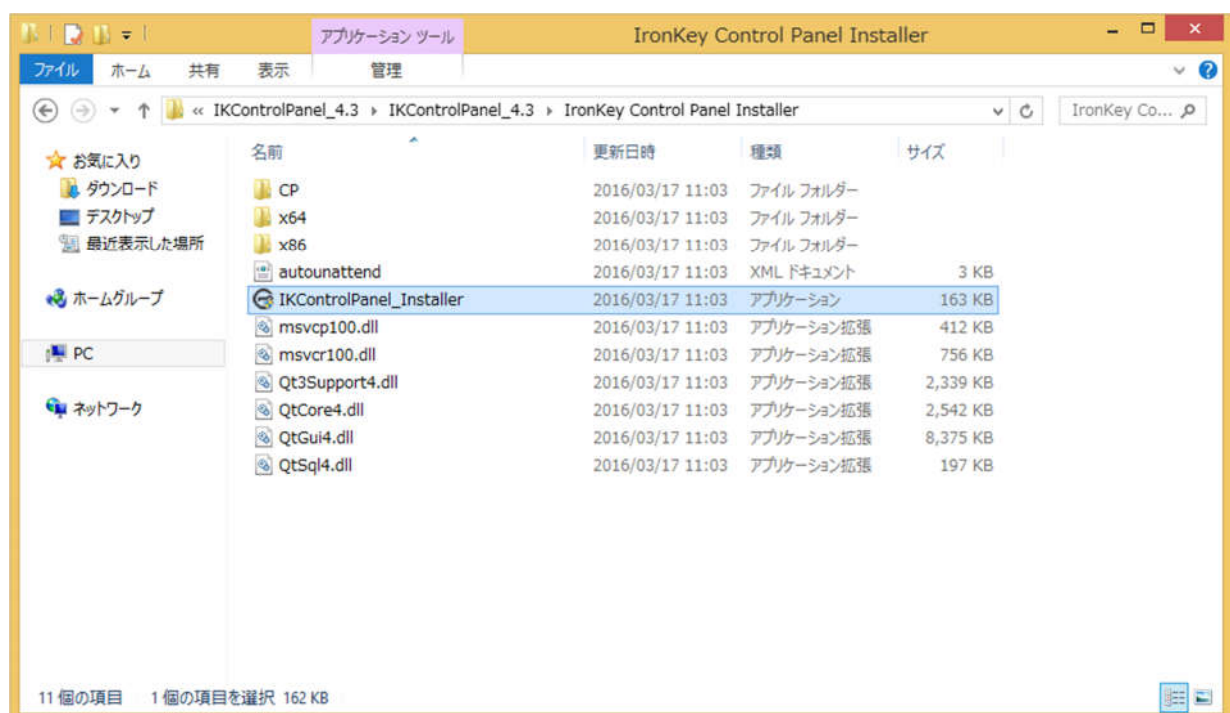
プロビジョニング手順の詳細につきましては、「IronKey Workspace Provisioning Tool User Guide (pdf)」を合わせてダウンロードし、御参照下さい。

2 : WIM ファイルの準備

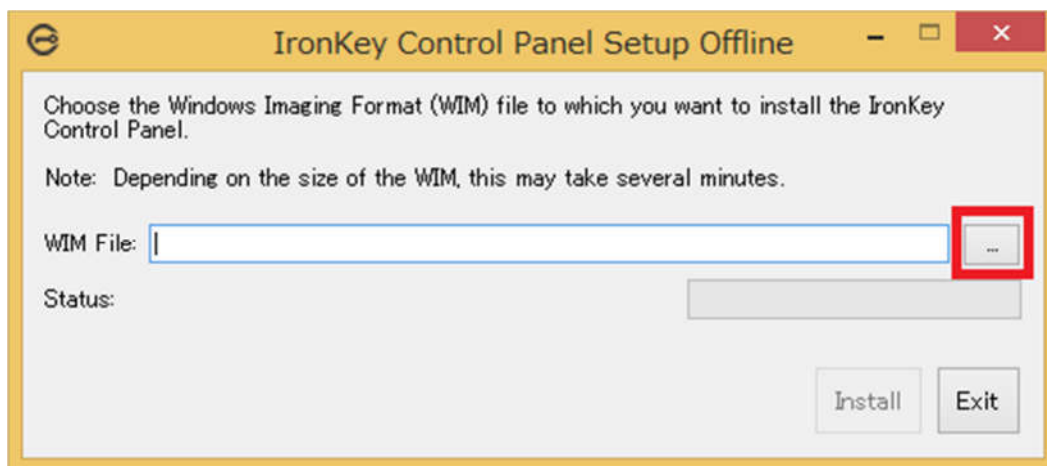
- Windows 8.1 Enterprise の OS メディア下記パスより、ローカル HDD にコピーします。(約 3.14GB)

光学ドライブ:¥sources¥install.wim

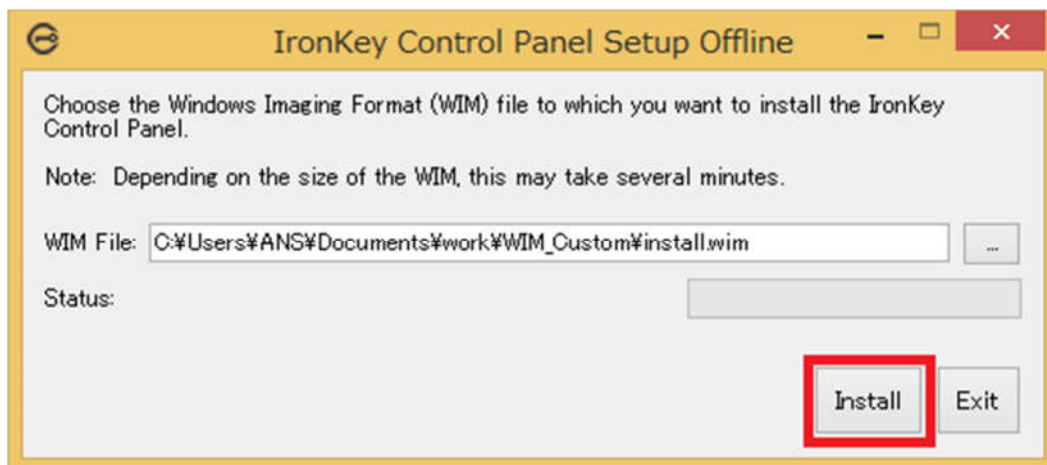
- IronKey Control Panel (IKControlPanel_4.3) 内に含まれる下記実行ファイルを実行します。
IKControlPanel_4.3¥IronKey Control Panel Installer¥IKControlPanel_Installer.exe



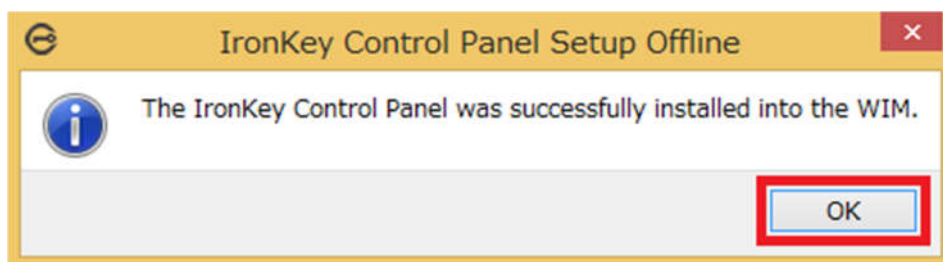
3. ウィンドウが表示され、1 でコピーした WIM ファイルを選択します。



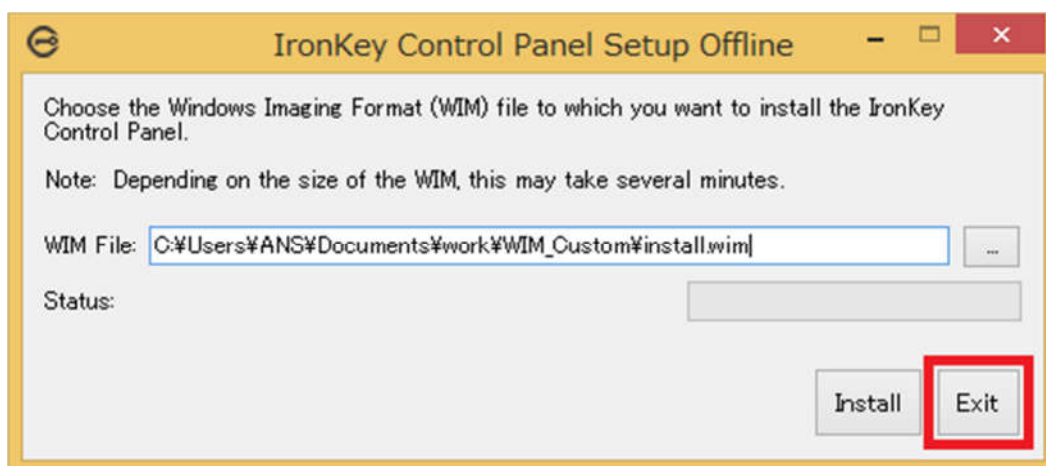
4. Install ボタンをクリックし、IronKey Control Panel を WIM ファイルへの埋め込みを実施します。



5. WIM ファイルへ埋め込み完了後ウィンドウが表示され、OK ボタンをクリックします。

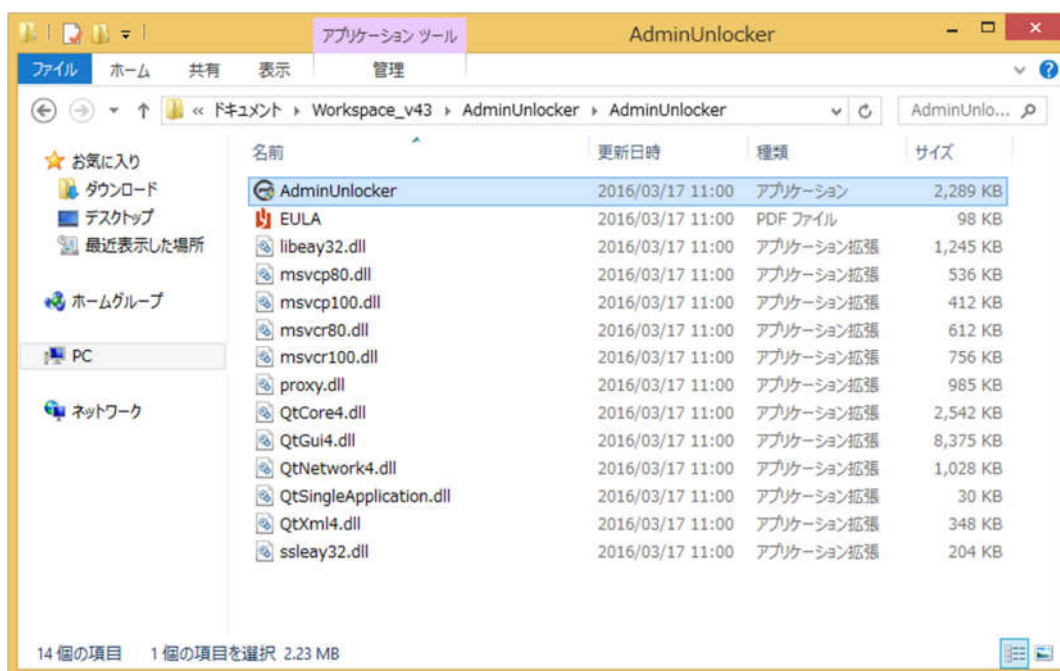


6. ウィンドウ内 Exit ボタンをクリックします。



3 : IronKey W500 のイニシャライズ

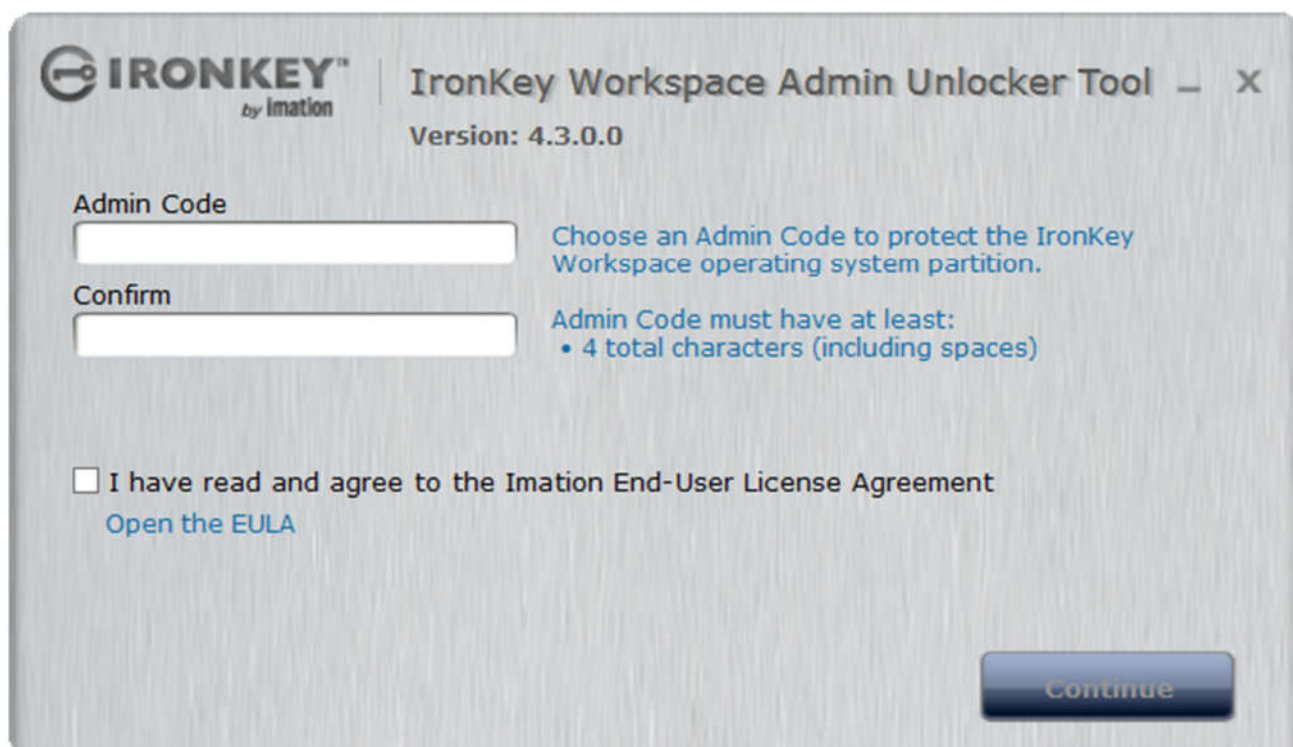
1. IronKey W500 を、プロビジョニングを行う Windows 8.1 Enterprise マシンに接続します。
2. AdminUnlocker 内に含まれる「AdminUnlocker.exe」実行ファイルを実行します。



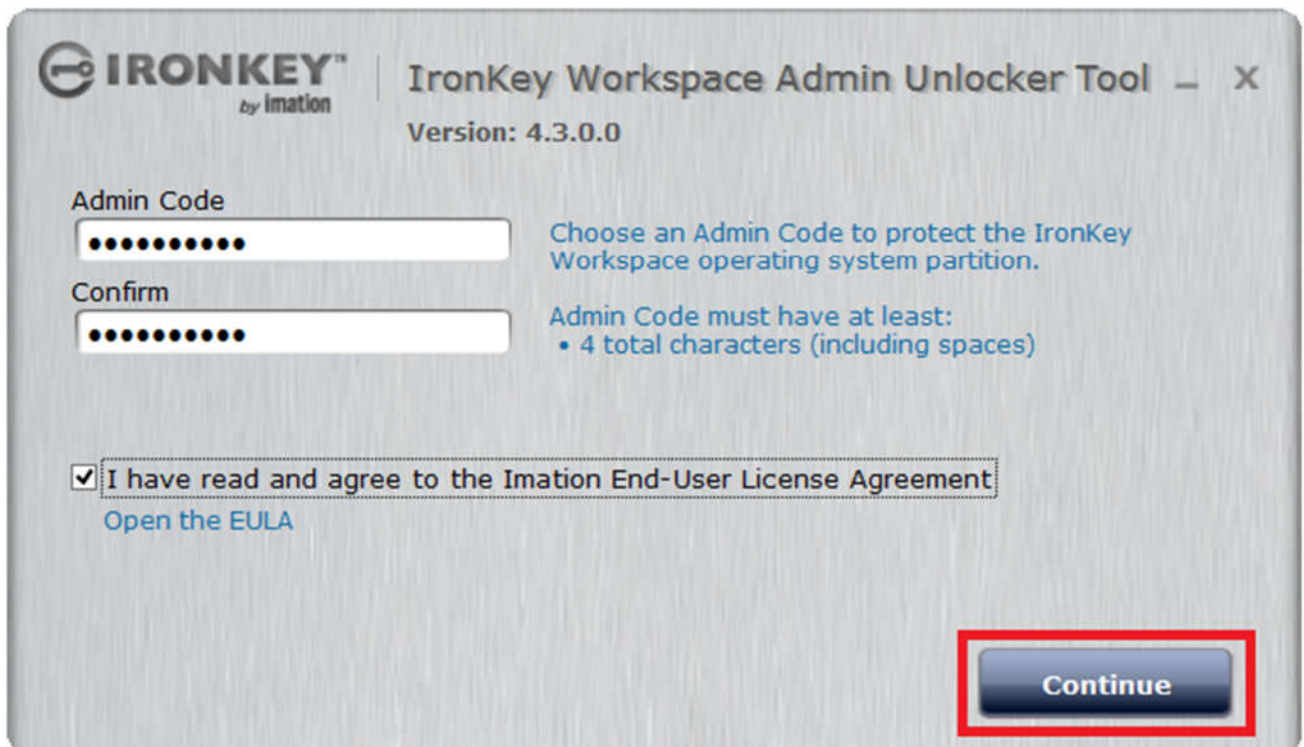
3. IronKey Workspace Admin Unlocker Tool (Version: 4.3.0.0) ウィンドウが表示され、「Initialize」 ボタンをクリックします。



4. イニシャライズが完了し、Admin Code 入力画面が表示されます。



5. 任意の Admin Code を入力し、EULA にチェックを入れると「Continue」ボタンがハイライトされます。「Continue」ボタンをクリックします。



6. 「Unmanaged」のラジオボタンにチェックを入れ、「Apply」ボタンをクリックします。
ここで「Managed by ...」にチェックを入れ先に進みますと、アクティベーションコード入力を求められてしまう為、「Unmanaged」にチェックが入っている事を御確認下さい。



4 : Windows To Go インストールの準備

1. IronKey Workspace Admin Unlocker Tool の「OS Partition」 ボタンをクリックします。



2. デバイスパスワードの入力を求められますので、先に設定した Admin Code を入力し「Unlock」 ボタンをクリックします。

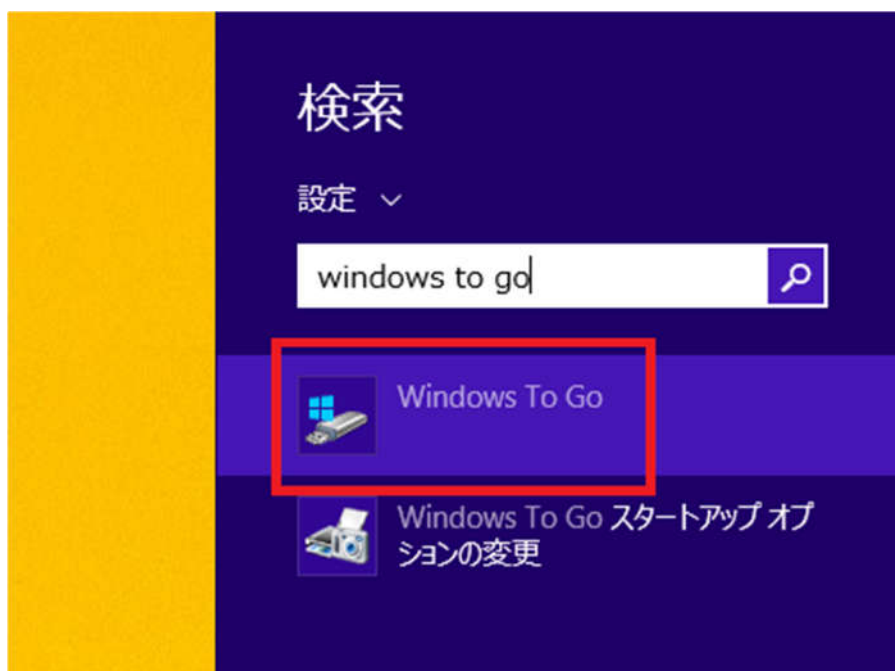


- OSパーティションのロックが解除された事を告げるメッセージが表示され、「Exit」ボタンをクリックします。

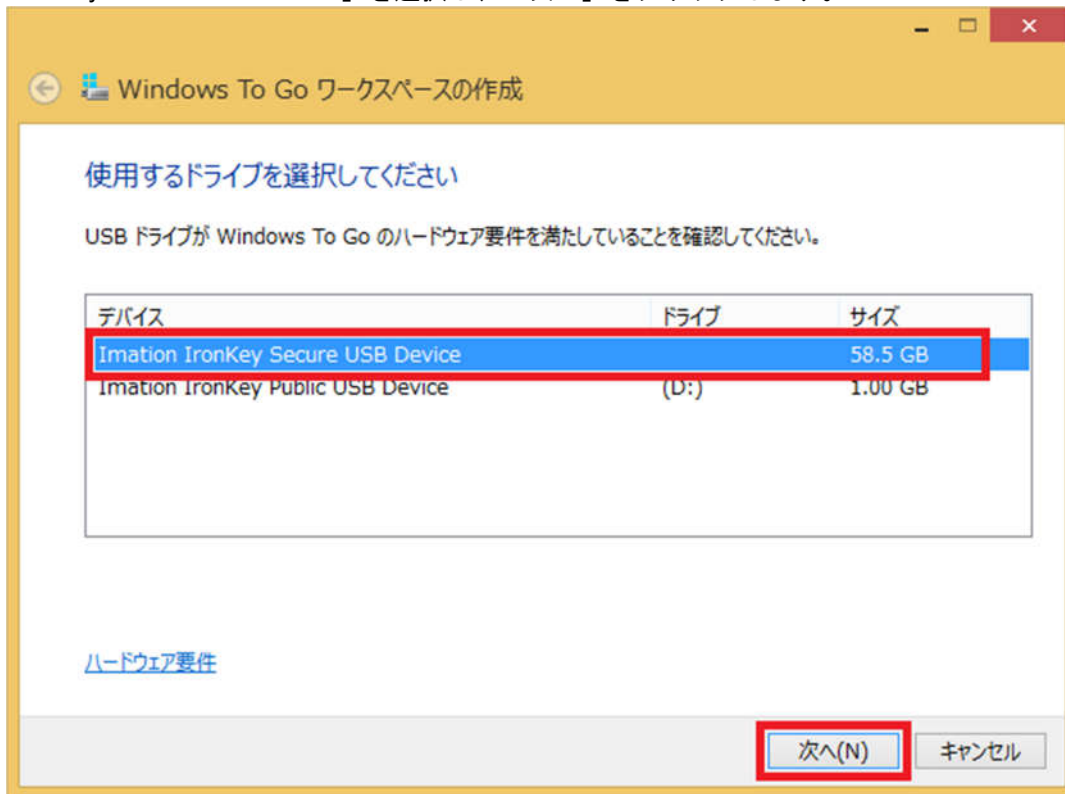


5 : Windows To Go インストール

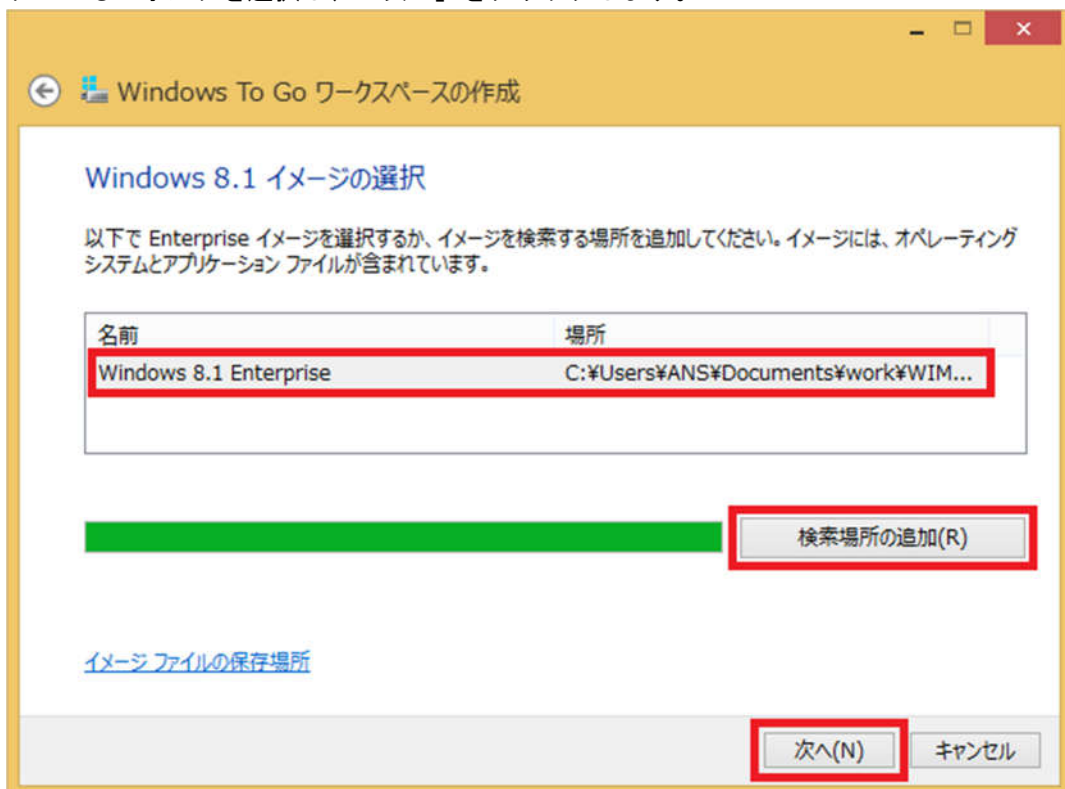
- Windows logo Key + W キーを押下し検索画面を表示させ、「Windows To Go」と入力し、Windows To Go を選択します。



- Windows To Go のワークスペースの作成ウィンドウが表示され、使用するドライブとして「Imation IronKey Secure USB Device」を選択し、「次へ」をクリックします。



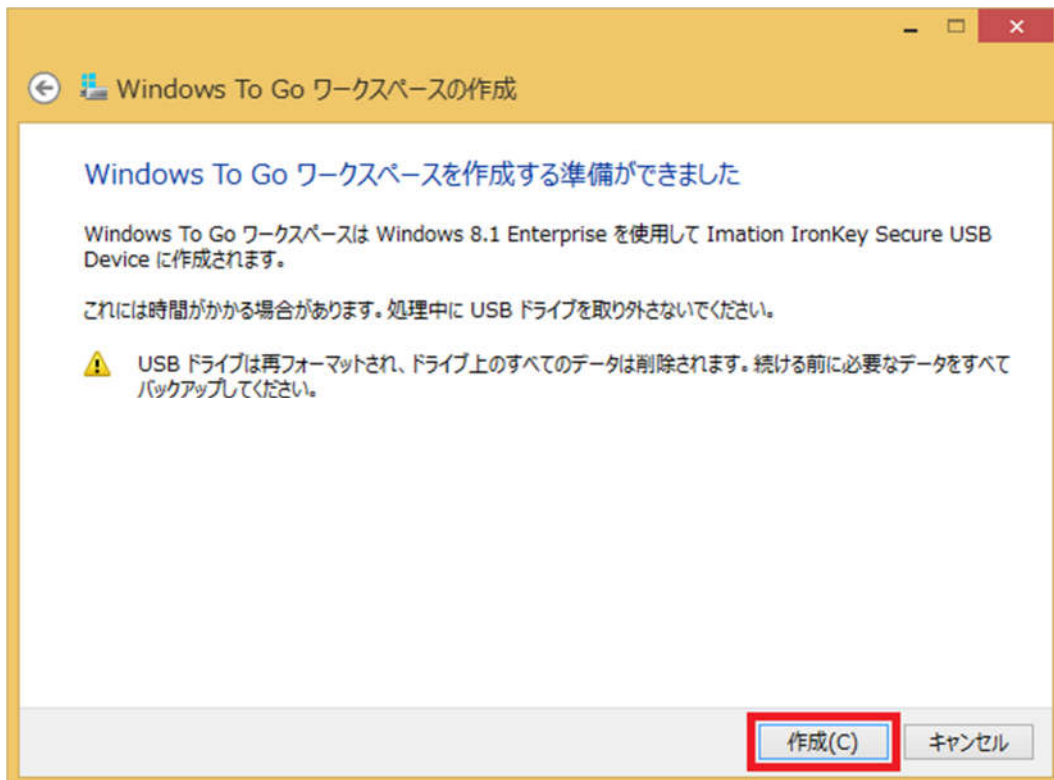
- Windows 8.1 イメージの選択が表示され、「検索場所の追加」ボタンをクリックし、WIM ファイルが保存されているフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。



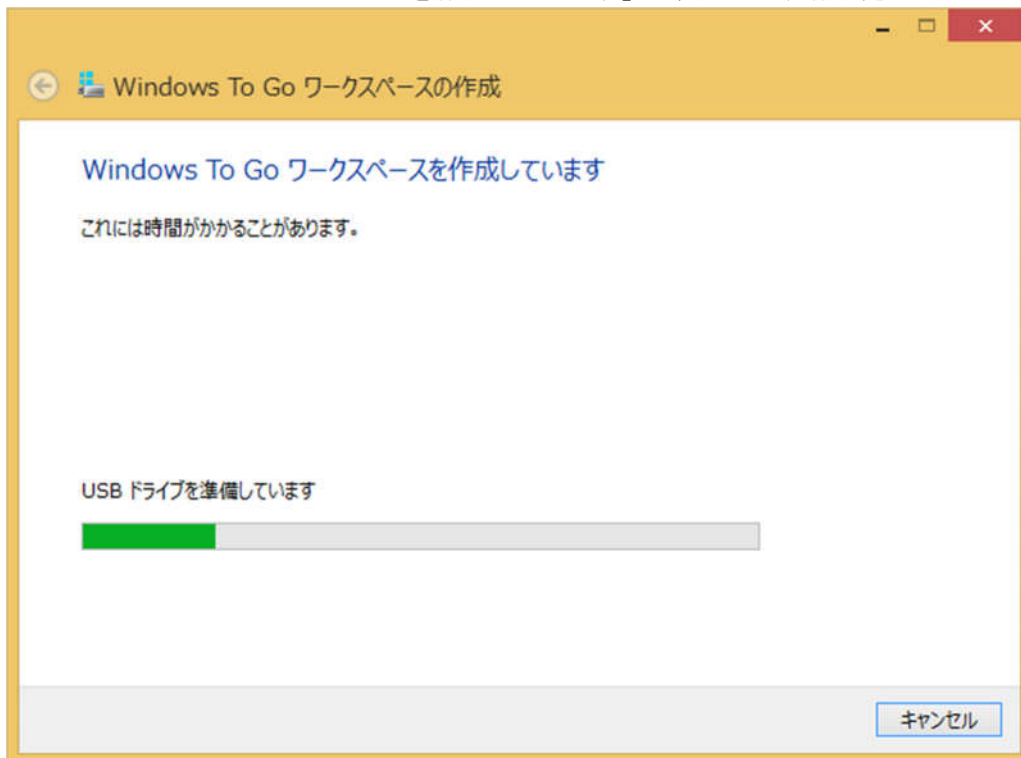
4. BitLocker パスワードの設定ウィンドウが表示されますが、設定は不要となりますので「スキップ」ボタンをクリックします。



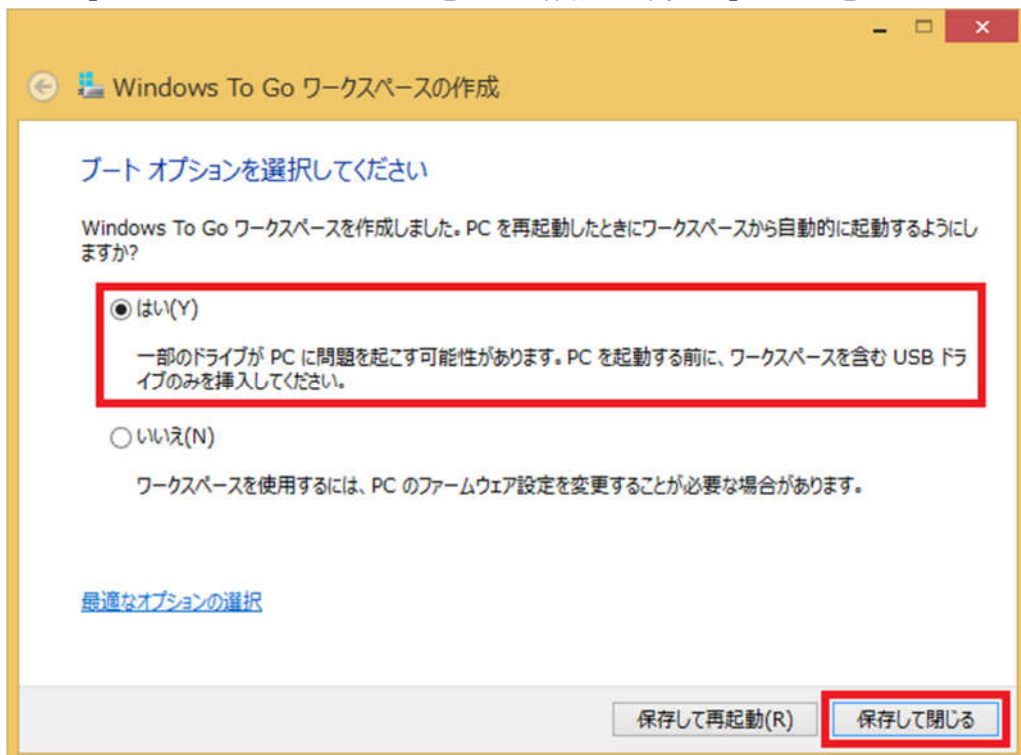
5. 「Windows To Go ワークスペースを作成する準備ができました」の表示を確認し、「作成」ボタンをクリックします。



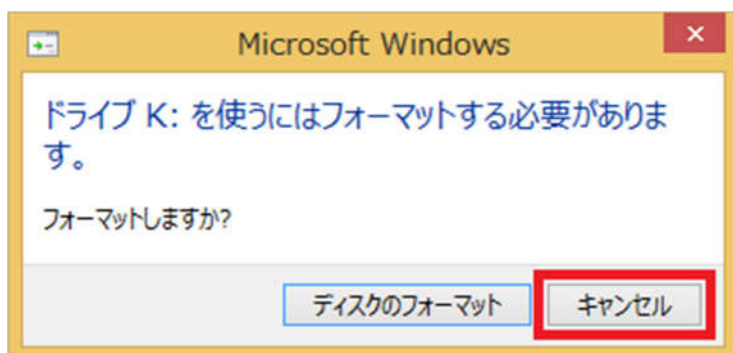
6. 「Windows To Go ワークスペースを作成しています」と表示され、作成完了までしばらく待ちます。



7. Windows To Go ワークスペースの作成が完了しますと、「ブートオプションを選択してください」と表示されます。
「はい」のラジオボタンにチェックを入れ「保存して閉じる」ボタンをクリックします。



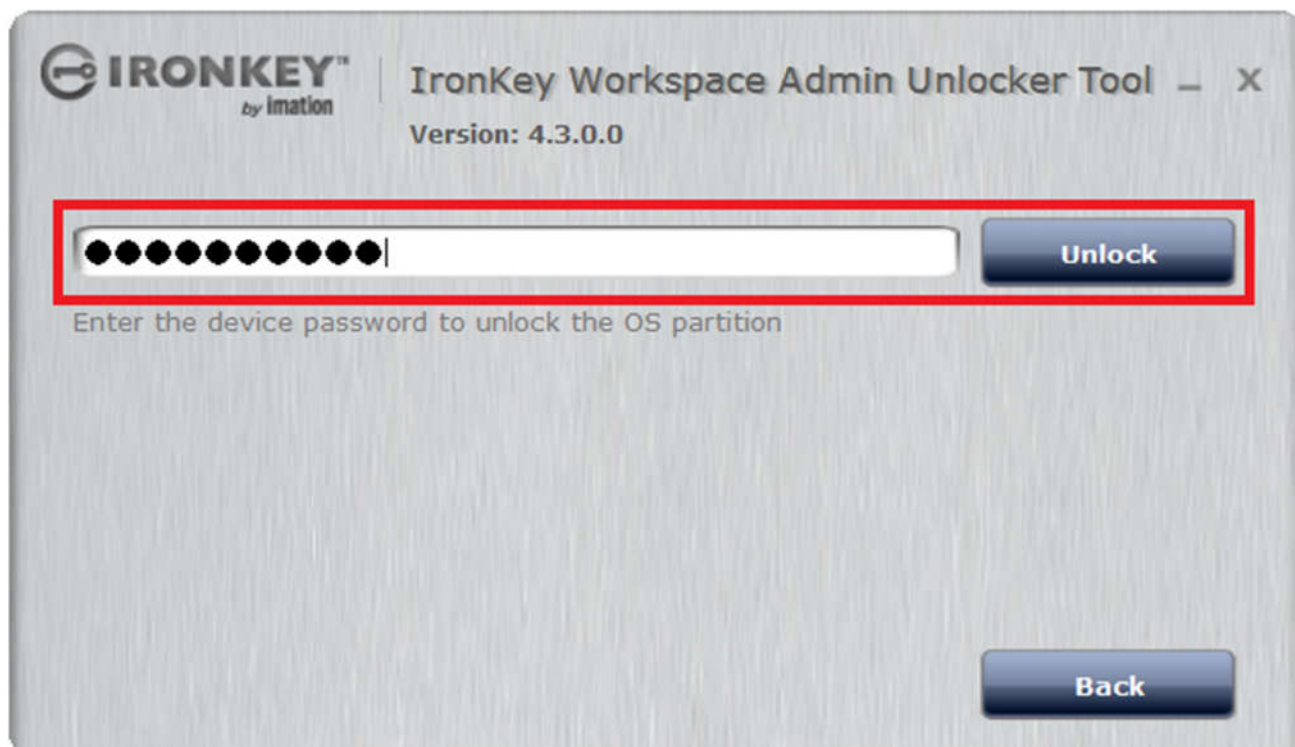
- Windows To Go ワークスペースの作成中に下記ウィンドウが表示されますが、「キャンセル」ボタンをクリックしウィンドウを閉じて下さい。



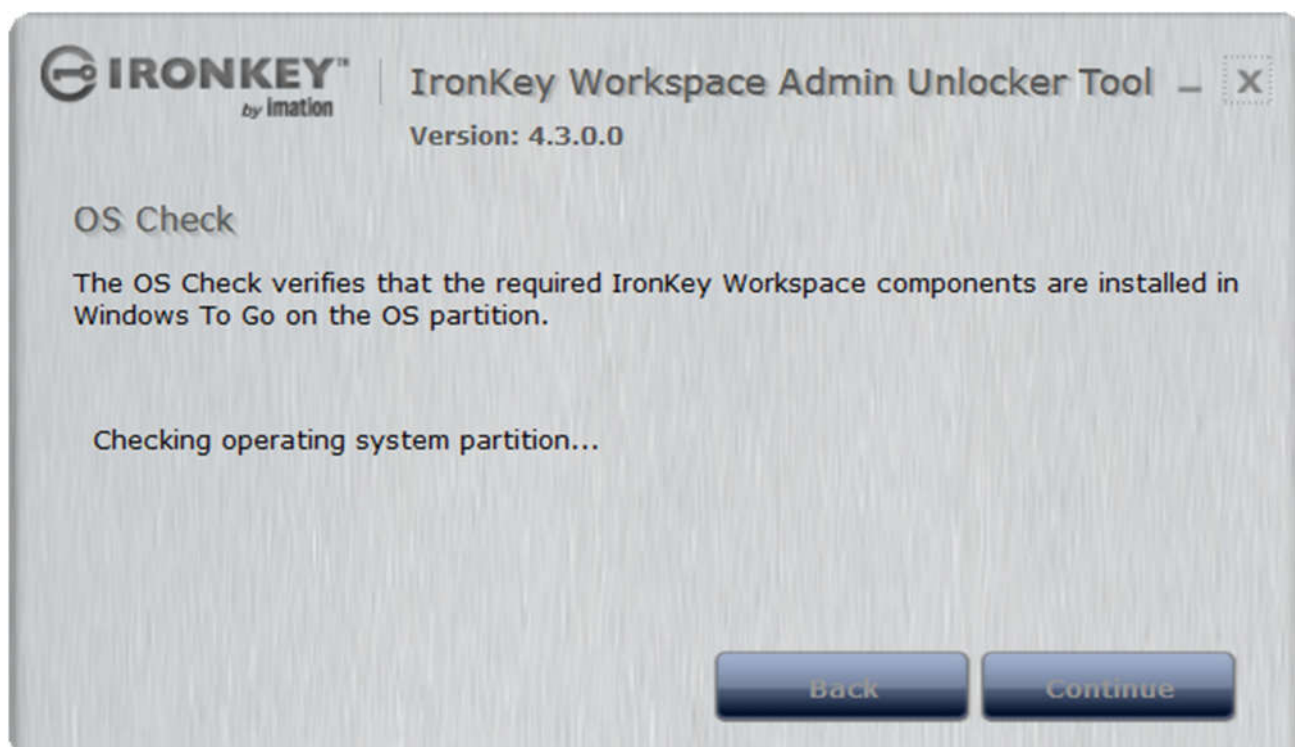
- Windows 8.1 Enterprise OS マシンをシャットダウンし、IronKey W500 デバイスを取り外します。
- Windows 8.1 Enterprise マシンの OS を起動し、IronKey W500 を接続します。
- Admin Unlocker を起動させ、「Check OS」ボタンをクリックします。



12. デバイスパスワードの入力を求められますので、先に設定した Admin Code を入力し「Unlock」ボタンをクリックします。



13. インストールした Windows To Go OS のチェックが完了するまで、しばらく待ちます。



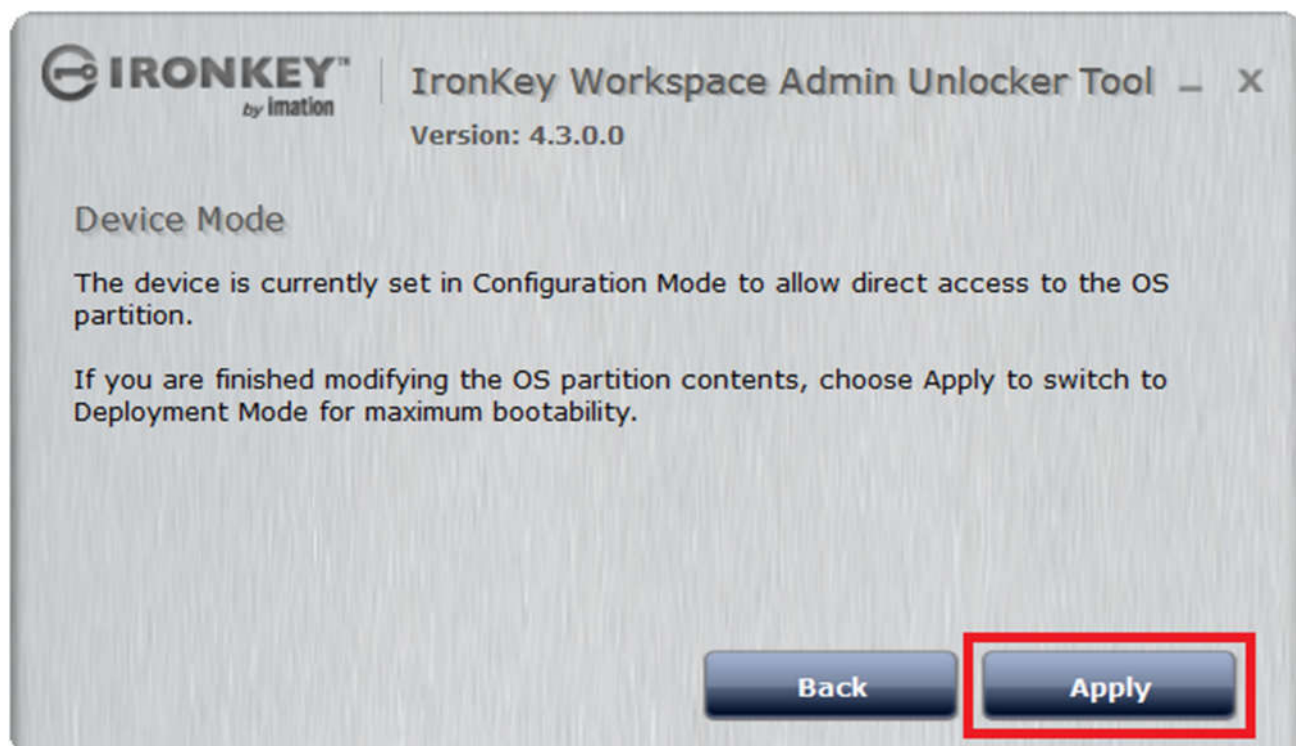
14. しばらく待つと、「Continue」ボタンがハイライトされますので、クリックします。



15. 「Deployment Mode」ボタンがハイライトされたメイン画面に戻りますので、クリックします。



16. 以下の表示に変わりますので、「Apply」ボタンをクリックします。



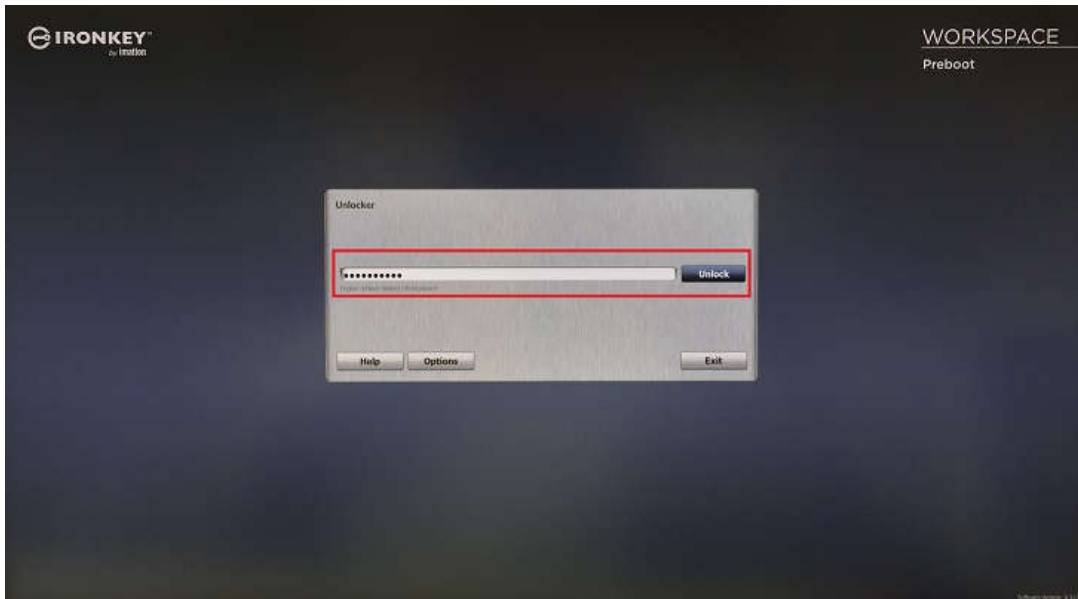
17. 以下の表示に変わりますので、「Exit」ボタンをクリックします。



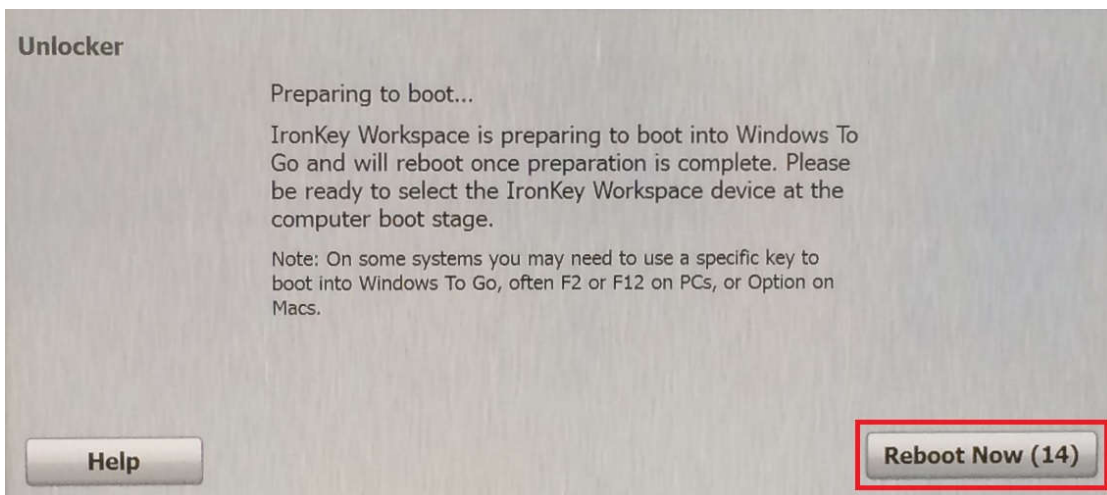
18. Windows 8.1 Enterprise OS マシンをシャットダウンし、IronKey W500 デバイスを取り外します。

6 : 設定完了後のメモリー使用について

1. Boot Device を USB に設定する必要があります。
IronKey W500 を使用する各 PC の BIOS にて、Boot Device を USB に設定変更を行って下さい。
(BIOS の設定方法はメーカーや機種によって異なる為、御確認頂きますよう御願ひ致します。)
2. IronKey W500 を使用するマシンをシャットダウンし、IronKey W500 デバイスを接続します。
3. マシンの電源を入れ、しばらくすると下記画面が表示されますので、Admin Code を入力し「Unlock」ボタンをクリックして下さい。



4. 再起動が始まるまで 15 秒待つか、「Reboot Now」ボタンをクリックします。
再起動後は、IronKey W500 にインストールした OS で起動します。



5. 以上でセットアップは完了です。

7: プロビジョニング後デバイスの再設定

1. ここでは IronKey W500 にインストールした OS の再インストールを行えるまでの手順を記します。IronKey W500 を、プロビジョニングを行う Windows 8.1 Enterprise マシンに接続します。
2. 「AdminUnlocker.exe」実行ファイルを実行しますと、「Configuration Mode」ボタンがハイライトされていますので、クリックします。



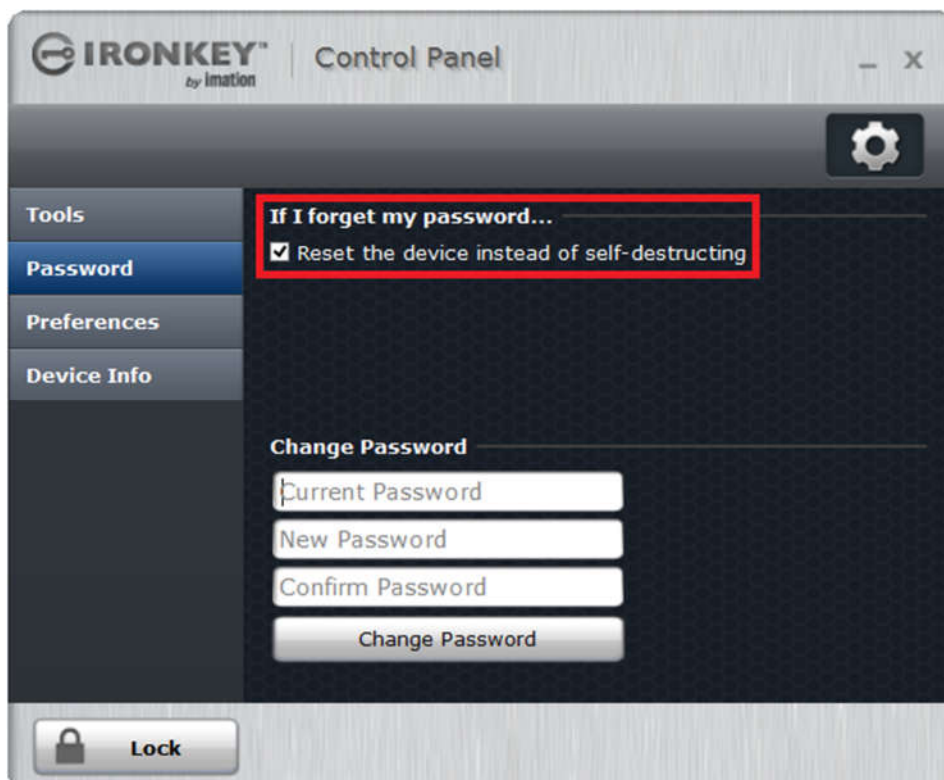
3. 以下の表示に変わりますので、「Apply」ボタンをクリックします。



4. 以下の表示に変わりますので、「Exit」ボタンをクリックします。



5. Windows 8.1 Enterprise OS マシンをシャットダウンし、IronKey W500 デバイスを取り外した後に、「Windows To Go の準備」以降の手順を実施して下さい。
6. IronKey W500 の標準設定では、Admin Code 入力時に 10 回間違えると工場出荷時状態にリセットします。意図的にリセットを行われる際には、IronKey W500 デバイスから IronKey Control Panel を起動し、Settings に入り画面左にある Password ボタンを押し、下記の様にチェックボックスにチェックが入っているかを御確認のうえ実施して下さい。



ここにチェックが入っていない場合には、デバイスが破棄され永久に使用する事が出来なくなります。

マシン上の OS が稼働している状態で実行出来る IronKey Control Panel 等では、3 回続けて Admin Code の入力を間違えると、デバイスの取り外しを求められます。

IronKey W500 デバイスから起動時に表示される Preboot 画面で、3 回続けて Admin Code の入力を間違えると、自動的に電源が OFF になります。

上記の動作を 3 回繰り返し、最後にもう一度 Admin Code の入力を間違える事でデバイスのリセットが始まり、工場出荷時の状態にリセットされます。

以上